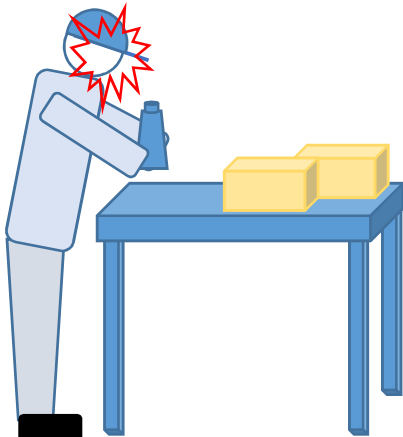


整理No. 2017-22		労働災害状況調査表			
災害発生日時		2017年6月20日(火) 13時35分 天候(晴) 温度(°C) 湿度(%)			
災害区分		不休災害			
被災者	部門	技術部 品質管理課		雇用形態 正社員	
	年齢	52歳	性別: 男	勤続年数 30年	経験年数 8年
	傷病名	病名 (化学眼外傷)			
	傷病部位	左眼			
災害発生状況	状況概略(写真orイラスト)				
	有機過酸化物の製品の荷姿全数検査を実施していた時、チューブ内のエア抜きを行っていた。エア抜きをする際は、チューブ内のペーストを下方に移動させあとに、チューブを握り締め行っていたが、口付近に付着していたペーストの液体分離部が弾け飛び左眼に入った。				
	直ちに、水にて15分以上の眼洗浄を実施し、眼科医の診察を受けた。				
災害の型 ^{※1)}		8有害物との接触		作業の形態 : 非定常	
起因物 : 有害物(ペースト)		特記事項			
原因分類	1.人的要因(man) : 危険物免状の有資格者であり、作業立会いのため、現場に入ったが、保護メガネの着用を失念して作業を手伝った。				
	2.物に関する要因(machine) :				
	3.環境要因(media) : お客様より、製品荷姿異常の問い合わせがあり、緊急的に製品全数検査を実施していた。				
	4.管理的要因(management) : 複数人での作業を実施しており、被災者以外は保護具(メガネ、手袋)を着用していたが、相互注意が出来ていなかった。				
対策	・今回の事故発生を全部署にて周知し、保護具着用について再度、徹底するよう指導した。また、作業仲間による活発な相互注意の実施を促した。				
	対策分類 ^{※2)} : 1-6教育、2-4危険認識				

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)